



函館昆布漁 いまむかし。 「海藻の標本・漁具の展示」

函館近海で獲れる昆布は平安時代から「宇賀の浦のひろめ昆布」と謳われ、統日本書紀にも登場しています。たゞは南蛮は古くより天皇家に納められる献上昆布の生産地として有名です。函館空港から望む道南の海は、いまはガゴメ昆布でも注目されています。

函館は昆布の出荷額日本一を誇り、伝統的に昆布漁が盛んな地域といえます。歴史的にも価値ある昆布・海藻の街、函館それらを採取するための漁具も独自の発展を遂げました。このたびはその独特の形状やユニークな機能性を皆さんに知っていただくため、これもまた不思議な姿をした海藻の標本とあわせて展示いたします。

この機会に私達函館市民が誇るべき「海の宝」としての海藻や漁具に触れて下さい。

函館空港・海の宝 インフォメーション 海と日本PROJECT

会期
2017年
8月1日 [火] ▼ 20日 [日]
会場
函館空港ロビー